

日商1級・税理士簿記受験生のための

【7日でマスター！】2級重要仕訳40（1日目）

～サンプル講義（仕訳1、仕訳2）～

未渡小切手・修繕

★未渡小切手とは、取引先に渡すつもりで準備して、帳簿上、当座預金を減少させていたが、なんらかの事情で、取引先に渡していない小切手のことです。

★修繕のための支出は、費用項目の一つ、修繕費勘定（費用）で処理します。ただし、支出の効果が将来にわたる大規模修繕や改良などの「資本的支出」は、固定資産の項目である建物勘定（資産）などで処理します。

★当期の固定資産の劣化などを原因として、将来、修繕費用の発生が見込まれる場合には、決算時に、その支出見込み額を修繕引当金勘定（負債）で貸方記帳します。借方は、修繕引当金繰入（額）勘定（費用）となります。

問1 決算に際して、銀行の当座預金残高と当社の当座預金勘定残高に¥80,000の差額があることがわかった。その原因を調べたところ、保険料を支払うために振り出していた¥80,000の小切手が手元に残っていることが判明したので、適正に処理する。

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
1				

問2 建物の修繕と改修の工事（工事代金¥1,600,000）を実施した。半額は¥800,000の小切手を振り出して支払い、残りは月末に支払うこととした。なお、工事代金のうち¥1,200,000は建物の耐用年数を延長させる支出であり、残額は定期修繕と補修のための費用であった。この修繕に対し、¥240,000の修繕引当金を設定していた。

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
2				

1. <主なテーマ：未渡小切手（Aランク）>

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
1	当座預金	80,000	未払金	80,000

(本問の前提) 保険料を支払うために小切手を振り出した時の仕訳

(借) 保険料 80,000 (貸) 当座預金 80,000

解答1 図

I 資産		II 負債	
+	当座預金	-	未払金
	80,000	前提	80,000
		III 純資産	
V 費用		IV 収益	
+	保険料	-	
前提	80,000		

2. <主なテーマ：修繕（Aランク）>

	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
2	建物	1,200,000	当座預金	800,000
	修繕引当金	240,000	未払金	800,000
	修繕費	160,000		

(本問の前提) 前期末の決算で、修繕引当金を¥240,000 計上した。

(借) 修繕引当金繰入額 240,000 (貸) 修繕引当金 240,000

解答2 図

I 資産		II 負債	
+	当座預金	-	未払金
	800,000		800,000
+	建物	-	修繕引当金
	1,200,000	前提	240,000
		III 純資産	
V 費用		IV 収益	
+	修繕引当金繰入額	-	
前提	240,000		
+	修繕費	-	
	160,000		